

## 祝 関東高等学校柔道大会茨城県予選大会

**男子団体 第3位！ 女子団体 第3位！**

**3年連続 男女アベックで 関東大会への切符をつかみ取りました！**



【大会終了後、賞状を囲んでの全体写真（頑張った良い表情です！）】

令和7年5月8日(木)、茨城県水戸市のアルテンジャパン武道館において『関東高等学校柔道大会茨城県予選大会』が行われました。

本校柔道部は男子団体戦と女子団体戦に出場し、**男子団体、女子団体ともに【第3位】**という素晴らしい成績を収めてくれました!!

その結果、**男女アベックでの関東大会への出場(3年連続)**が決定です!

**※アベック出場は県立高校では本校だけです!!**

応援して下さった保護者の皆様をはじめ、沢山稽古をつけて下さったOB・OGの皆様、本当にありがとうございました。

《戦評》

☆女子団体戦では3位決定戦で対戦した高校が、3月に行われた全国選手権に出場した57kg級と無差別級の県チャンピオンがいる強豪校であった。本校は関東大会のレギュレーションで配置すると52kg、52kg、63kgというハンデのある戦い。そんな中でも**1年生の田代(52kg級)**が気を吐き**57kg級のチャンピオンから勝利をもぎ取り**、2対1という接戦をものにする事ができた。諦めない姿勢が勝利を引き寄せた戦いであった。

☆男子団体戦では3位決定戦で強豪私立高校との対戦。お互いに意地のぶつかり合う熱戦が繰り広げられる。5人が戦い終えて2対2の全くの互角。勝負の行方は代表戦へと持ち越される。本校は60kg級荒川。対する相手は昨年度の関東選抜県予選100kg級のチャンピオン。体重差40kgの戦いが始まった。互いに気迫のこもった技を仕掛ける。荒川の方が攻め手は多いが流石は重量級のチャンピオン。動じずにチャンスを待つ。荒川が不十分な攻めをみせると返し技にて逆襲され、指導も重ならない。手に汗握る戦い。あっという間に本戦の4分間が過ぎてしまう。ここからは延長戦。ゴールデンスコア方式なので、技によるポイントか反則のポイントに差が着いたら勝敗が決してしまう。**トータル約十分弱の熱戦。荒川の劇的な背負い投げで勝利を勝ち取った。**決勝戦よりも見ごたえのある試合であった。

投げた後、荒川が悔しさに立てない相手選手に手を差し伸べたシーンがとても感動的でした。心の成長が見られた3位決定戦でした。



【なかなか立ち上がれない相手選手に手を差し伸べる荒川】